



会員メリットを追求

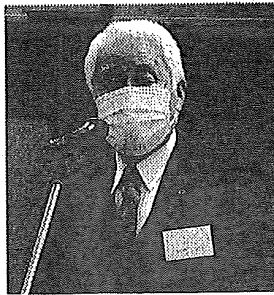
建コン協

建設コンサルタンツ協会九州支部（田中清支部長）は、福岡市内のホテルで2022年度定時総会を開き、事業計画案など全議案を承認した。22年度運営方針には「建設コンサルタントの一層の魅力向上に向けた総合的な環境整備」などを掲げた。

冒頭、田中支部長は、支部会員が昨年からの2社増えて155社になったことを報告したほか、地方

自治体には技術力による選定、九州地方整備局にはインフラDX（デジタルトランスフォーメーション）に参画しやすい環境整備を求め、「全会員のメリットを追求した活動を行っていく」と方針を述べた。写真。

事業計画では、女性技術者委員



会が女性技術者を対象とした交流会や他支部女性技術者との意見交換を計画。若手技術者委員会は全国各支部の若手の会との連携・交流を図る。夢アイデア部会は、恒例の夢アイデア交流会を12月3日に予定。人材育成や広報活動にも取り組む。技術部会はオンラインを活用した講習会を開き、同部会道路技術委員会では西日本4支部との連携意見交換会・九州交通未来研究会を予定している。

役員改選では、副支部長に尾長谷孝之（西日本技術開発執行役員企画管理部長）、上村俊英（建設技術研究所九州支社取締役常務執行役員支社長）の2氏を選出した。